

美術科 3年

## 心のイメージを形に

担当 矢治朋恵

### 【活動の目標】

知・技：形や色彩，その組み合わせに着目しイメージをとらえ，絵具などの材料を生かして表している。  
思・判・表：感情やイメージをもとに，形や色彩。構成などの効果を考え，構想を練ったり鑑賞したりしている。

主：感情やイメージなどを形や色彩で表すことに関心を持ち，意欲的に取り組んでいる。

### 【 問 い 】

作家の抽象表現作品とタイトルを組み合わせる鑑賞活動をすることで，造形的要素に注目させ抽象表現の豊かさを感じ取らせる。

（「問い」の工夫1）

感情を抽象表現で表す作品を経て合唱曲についての作品を制作することで，形のない感情や音などを表すことへの興味と意欲を持たせる。

（「問い」の工夫2）

今回 ICT を活用した場面	従来 of 活動
A1 教員による教材の提示 導入の鑑賞の教材として，スライドに作品とタイトルを4種類載せたものを配付する。	教科書や資料集に掲載された写真をみて鑑賞する
B3 思考を深める学習 iPad の Fresco というアプリを使って，作品を制作する。	水彩などの画材を使って絵画作品を制作する。

### 【資料】（授業の様子）



### 【ICT 機器を活用する良さ】

○何度もやり直しができるので積極的に自分の発想を試すことができる。

○実際に絵の具で描くときにうまくできない技法なども，アプリの機能を使うことで思うように表現することができる。

### 【改善すべき点と原因および改善案】

・発想がなかなか深まらず，思考の流れをうまく作ることができなかった。

⇒原因

アプリにある沢山のツールを使うことに集中してしまい，発想を基にした作品作りではなく，何となく気に入った表現などに偏ってしまった。

⇒改善案など

アプリの機能などに慣れさせる時間の確保は必要だった。ある程度の表現の種類を把握したうえで，発想や意図に合わせて構想を練ることができるようにしたい。

